

8. 審査基準

(1) 実現性

制作体制や実施体制が整っている。活動規模やスケジュールが妥当であること。

(2) 独創性

アーティストが独自の表現を追求することの中に、普遍的な価値が見出せること。
他分野との協働を通じて、芸術の新しい価値創造を目指している。

(3) 将来性

長期的展望があり、今後の活躍や発展が期待されること。

9. 主催者によるサポート

(1) 制作・活動費の支援

選考の結果、総額10万円（上限）の支援。

※複数組選ばれた場合、審査員の審議に基づき、金額を分配することがある。

(2) 制作・展示場所の提供（旧平櫛田中邸）

(3) 地域との連携をサポート

(4) 展示・制作会場の提供

(5) 展示・発表の広報協力

10. 作品の著作権・販売について

作品の著作権や販売については、個別相談の上、主催者と参加アーティスト間で覚書を結ぶ。会期中に撮影した制作風景・展示風景や作品などの記録写真・映像の使用権は、主催者と参加アーティストの両者が確保する。作品の販売については、主催者と参加アーティストの協議の上決定する。

11. 応募方法

応募受付期間 2018年10月31日(水) 当日必着

下記必要書類(1)(2)を郵送、またはメールにて受け付けます。※メールの場合、2日以内に受領のご連絡をいたします。メールが届かない場合は、お問合せください。

(1) エントリー用紙

(2) プロポーザル記入用紙

※提出いただいた書類の返却はいたしません。

◆ 提出先

〈郵送の場合〉

〒110-0002

東京都台東区上野桜木 2-20-3

一般社団法人 谷中のおかって

DenchuLab.担当係

TEL:080-4342-8215

〈メールの場合〉

dencyu@taireki.com

※件名に〈DenchuLab.企画提出〉と明記の上、お送りください。

旧平櫛田中邸について

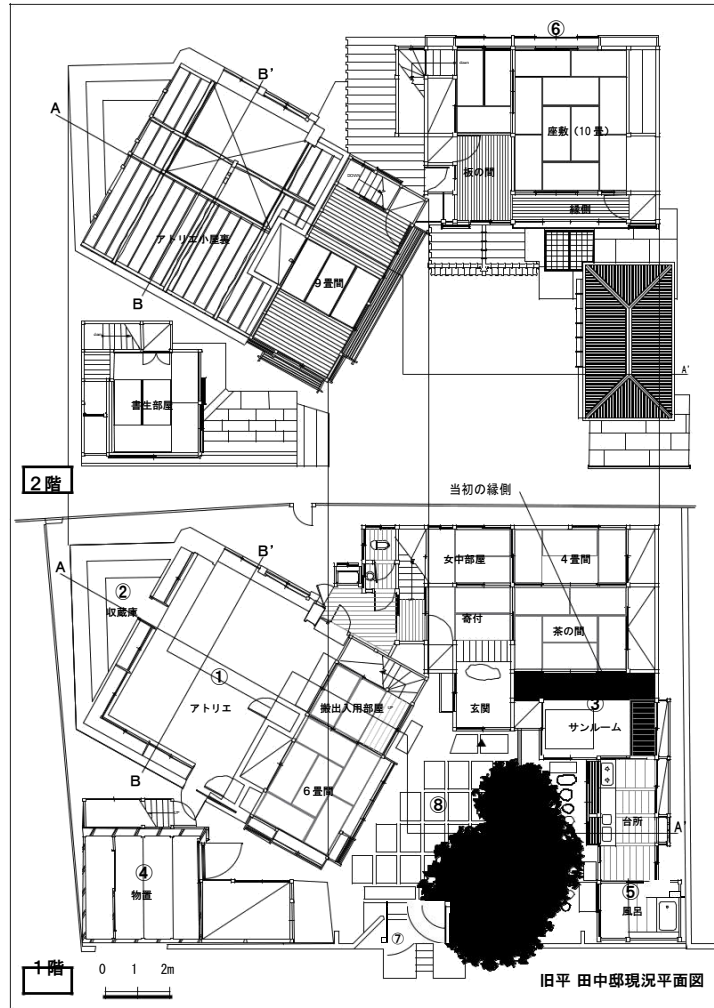
旧平櫛田中邸は、近代日本彫刻を拓いた彫刻家、故平櫛田中氏（1872~1979）が、大正8年から昭和45年まで住み彫刻制作に励んだ建物です。

岡山県井原市出身の田中氏は、明治30年、彫刻家を目指して上京し、岡倉天心の奨励を得て近代木彫の旗手となります。台東区上野桜木のアトリエ（大正8年築）と邸宅（大正11年築）は、大作「転生」の制作にあたり、日本美術院の同人であった横山大観、下村観山らの支援を得て建てられました。当時の最先端の近代的なアトリエと大正時代の伝統的技術による日本家屋がほぼそのままに残る貴重な建物です。

平櫛田中氏は、写実と伝統木彫の技を融合した彩色彫刻に優れ、「鏡獅子」などの代表作をつくられ、昭和36年には台東区名誉区民、同37年に文化勲章を受けられました。また東京美術学校、現東京芸大の教授となり多くの後進を育てました。

平櫛田中氏とご家族は昭和45年までこの家に住み、小平市に転居される折、桜木の家とアトリエを出身の井原市に寄贈されました。その後、お弟子さんが管理のために住まわれた後、無住のあいだ建物の傷みが進んでおりました。

そこで、平成14年から、井原市とご遺族平櫛弘子様のご了解のもと、東京芸大と地域生活文化を生かすNPO たいとう歴史都市研究会が協力して、建物の修繕維持管理と展覧会、見学会等による田中邸の顕彰などの活動を展開してきました。平成23年より文化芸術に関する企画の実施運営を通じて、人々の交流をうみだす一般社団法人 谷中のおかっても協働し、芸術文化の発信活動を行っています。



0 1 2m 収蔵庫 アトリエ 搬出入部屋 主屋 旧平 田中部A-A' 断面図・立面図